

令和元年度 学校に関するアンケート 集計結果  
(高等部教員)

回収率： 92%  
(前年度87%)

回答中ABを「肯定的な意見」、CDを「否定的な意見」として、「肯定的な意見」が90%以上の項目には「◎」を記載。また、「肯定的な意見」が、前年度と比べて5%以上の増減がある場合は「↑」「↓」で記載しています。

	項目	90%以上 ◎	5%以上 増減 ↑↓	肯定的		否定的		E: わからない、 無答
				A: よくあてはまる	B: あてはまる	C: あまりあてはまらない	D: まったくあてはまらない	
1	学校の教育活動や教育計画の作成にあたって、教職員で話し合っている。		↓	13%	53%	23%	3%	7%
2	教育課程の編成にあたって、学習指導要領の趣旨が生かされている。		↓	5%	53%	22%	5%	15%
3	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。		↓	8%	52%	32%	0%	8%
4	学校は、教育活動全般について、児童生徒や保護者の願いによく応えている。			25%	58%	10%	0%	7%
5	児童生徒の実態を踏まえ、個別の指導内容・指導方法について工夫・改善を行っている。		↓	20%	63%	10%	2%	5%
6	教職員はカウンセリングマインド※を取り入れた生活指導を行っている。（※相手の立場に立って、その人の考えや行動を共感的に理解しようとする態度のこと。）			12%	60%	18%	3%	7%
7	児童生徒一人ひとりが興味・関心、適正に応じて進路選択できるよう、発達段階や実態に応じた指導を行っている。		↓	10%	65%	18%	2%	5%
8	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。		↓	7%	38%	32%	7%	17%
9	体罰等の防止をはじめ、すべての教育活動において、人権尊重の姿勢に基づいた支援・指導が行われている。		↓	10%	42%	32%	3%	13%
10	教員間で授業見学をし、授業方法等について検討する機会がある。		↓	10%	18%	42%	22%	8%
11	教育相談体制が整備されており、児童生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。		↓	8%	43%	37%	3%	8%
12	学校行事が児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。		↓	12%	37%	33%	7%	12%
13	教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、学校経営に教職員の意向が反映されている。		↓	5%	27%	42%	15%	12%
14	コンピュータ等のICT機器が各教科の授業などで活用されている。		↓	15%	53%	17%	3%	12%
15	この学校では、児童生徒の教育環境が整備され、施設・設備の拡充が見通しをもって計画されている。		↓	5%	23%	48%	13%	10%
16	初任者等、経験の少ない教職員が成長していけるよう校内研修等、工夫がされている。		↓	7%	35%	37%	10%	12%
17	研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。		↓	7%	37%	35%	7%	15%
18	教育活動に必要な情報について、保護者や地域への周知に努めている。		↓	8%	47%	20%	5%	20%
19	情報提供の手段として、学校ホームページや緊急連絡システム(メール配信サービス)が活用されている。	◎		35%	55%	3%	0%	7%
20	教職員はPTA活動に協力し、参加している。		↓	15%	47%	18%	3%	17%
21	個別の指導計画、個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成している。	◎		28%	63%	5%	0%	3%
22	個別の指導計画、個別の教育支援計画は、保護者に開示し、説明している。	◎		48%	47%	2%	0%	3%
23	「食に関する指導の全体指導計画」に基づき、給食時間や各教科等の授業において食に関する指導を行っている。		↑	10%	63%	13%	2%	12%